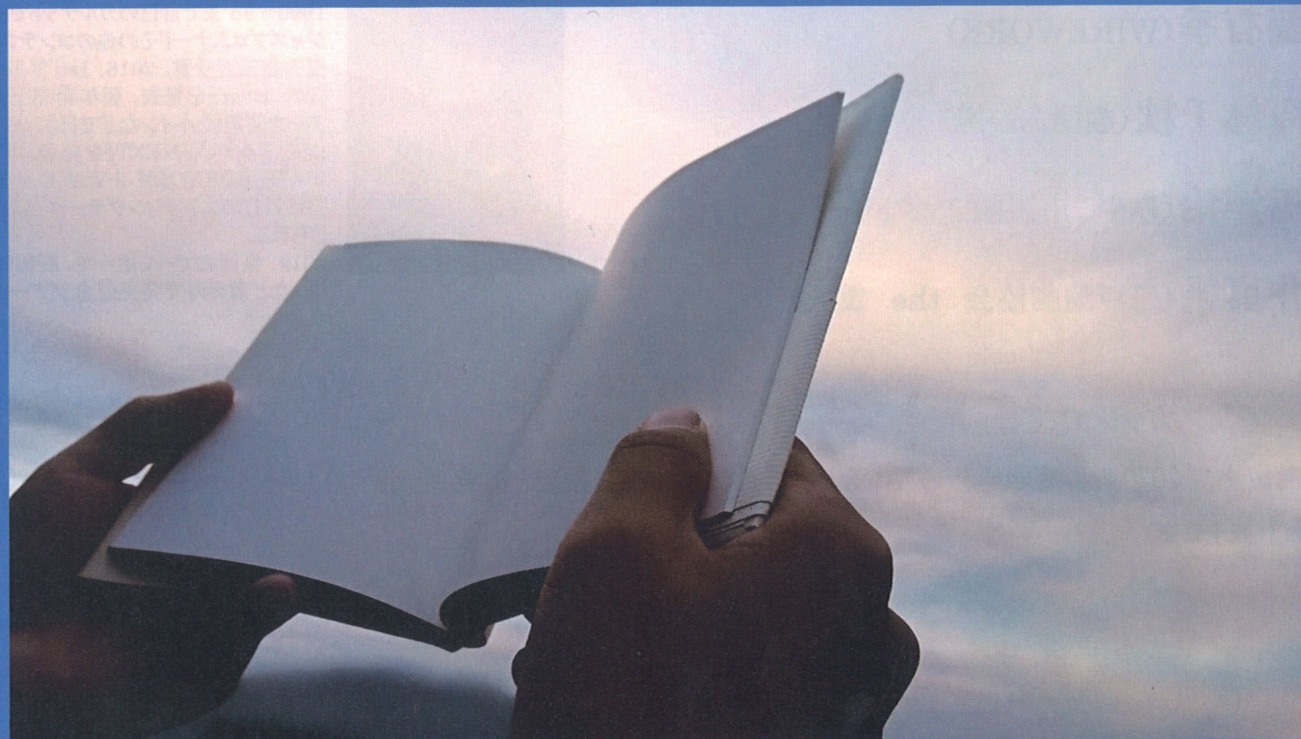


3.11 いわて 文化復興支援フォーラム



【第一部】 いわて震災小説 2020 入賞作品授賞式
朗読劇～公募震災小説より～

【第二部】 ディスカッション
「震災と文学」

令和2年3月8日(日)13:30 (13:00 開場/全席自由)

もりおか町家物語館 浜藤ホール

定員 80 名: 入場無料(要予約)

入場ご希望の方は、「お名前」「ご連絡先」を下記申込先までご連絡ください。
定員に達し次第締め切りとなります。あらかじめご了承ください。

《主催》盛岡市、特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター、特定非営利活動法人盛岡まち並み塾
《申込・問合せ先》

TEL:019-604-9020 MAIL:kaze@iwate-arts.jp WEB:http://iwate-arts.jp (担当: 藤原・安藤)

第一部:いわて震災小説 2020 入賞作品授賞式

朗読劇 ～公募震災小説より～ 構成・演出:坂田 裕一

いわてアートサポートセンターでは、東日本大震災及びそれ以降の復興や暮らしを基に執筆した「掌編小説」を公募しました。寄せられた作品の中から最優秀賞および優秀賞の作品を、朗読劇として上演します。

【出演】(五十音順)

大森健一(劇団赤い風)

工藤有季(WIREWORK)

東海林千秋(劇団赤い風)

富田淳治(みやこ市民劇ファクトリー)

山井真帆(二戸演劇協会 the 雲人)

【演奏】

鈴木 牧子



盛岡市在住。ジャズピアニスト。1996～98 まで自己のカルテットで横浜ジャズプロムナードその他のコンテストで優秀賞三度受賞。2016、1st アルバム『My Dear』を発表。翌年発売記念ツアーを新宿ピットインなどで行う。2018、2nd アルバム『NEXT』を発表。オリジナル曲『BOKYO』が J-WAVE の番組『WITH』のエンディングテーマに取り上げられる。2019、盛岡おでってホール、新宿ピットインなど数カ所で発売記念ツアーを行う。

第二部:ディスカッション「震災と文学」

いわて震災小説 2020 の審査員を務めた作家 3 名をゲストに招き「震災と文学」をテーマにディスカッションを行います。

【ゲスト】(五十音順)



©講談社写真部

柏葉 幸子

岩手県宮古市生まれ花巻市出身。童話作家。「霧のむこうのふしぎな町」でデビュー。他に「帰命寺横丁の夏」被災地を舞台にした「岬のマヨイガ」近著「湖の国」がある。



斎藤 純

作家、岩手町立石神の丘美術館芸術監督、月刊『街もりおか』編集長。立正大学文学部哲学科卒。1988 年、『テニス、そして殺人者のタンゴ』(講談社)でデビュー。1994 年、「ル・ジタン」で第 47 回日本推理作家協会賞短編部門受賞。2011 年、東日本大震災復興支援団体 SAVE IWATE を立ち上げ、もりおか復興支援センター初代センター長をつとめる。



外岡 秀俊

(作家・元朝日新聞社東京本社編集局長) 1953 年札幌市生まれ。作家、ジャーナリスト。元朝日新聞本社編集局長。著書に石川啄木をテーマにした小説「北帰行」がある。東日本大震災の際は、現地に取材に入り、啄木、賢治の世界から、震災を考察した。

【コーディネーター】



坂田 裕一

(特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター理事長) 元岩手県演劇協会会長、公益財団法人全国公民館連合会理事、など。また、日本演出者協会会員でもあり、いわてアートサポートセンターや所属する劇団赤い風の演劇公演の演出を多数手がけている。震災後はいわて文化支援ネットワークの設立を主導するほか、二戸市民文士劇やみやこ市民劇などの市民参加劇の演出を担当。

【会場周辺地図】



【アクセス】

《バス》

- ①盛岡駅東口 13 番乗り場「矢巾営業所行き」乗車、「南大通二丁目」降車
- ②盛岡駅東口 5 番乗り場「盛南ループ(右回り)」乗車、「南大通二丁目」降車

《徒歩》

- 旧盛岡バスセンターより 20 分
- 仙北町駅より 20 分
- 南大通二丁目バス停より 7 分

《タクシー》

- 盛岡駅より 10 分 / 仙北町駅より 5 分